



たんぽぽ組だより

3月号 令和6年3月22日 こどり保育園

担当 新関

春を感じさせてくれるような暖かい日が
少しずつ増えてきました。天気の良い日には、園庭で体を動かして
元気いっぱい過ごしています。

先日、子ども達と「だるまさんがころんだ」をしてみました。
初めは、ルールを理解することが難しく、保育者が振り返ったときに
一緒に後ろを見る子がいたり、そんなことはかまわずに走ってしまう子が
いましたが、だんだんと分かってきて、「—ころんだ！」と鬼の保育者が
振り返ると、「ヒッッ！」と動きを止めて待てるようになってきました。
そのときの子ども達の嬉しそうな表情は、キラキラしていて、



こちらも笑顔になれます。お友だちと関わり
遊ぶことを喜べるようになってきた子ども達。
ルールのある遊びにも挑戦して
遊びの幅が広がってくれたら...と思っています。
さて、たんぽぽ組で過ごす日々も残りわずか。
身体はもちろん、心も大きく成長してくれました。

泣いている子に「どうしたの。」「大丈夫だよ。」と声を掛けてあげたり、
身仕度の際、困っている子には そと手伝ってあげられる優しい姿が
多く見られます。

「もうすぐすみれ組さん」そのことを
子ども達なりに理解して
楽しみにしているように見えます。
一人ひとりに合わせて援助をしながら
進級への期待を持てるよう、大切に
保育してまいります。一年間、
たくさんのご協力を、ありがとうございました。

